

エレニの旅 (2004)

TRILOGIA I: TO LIVADI POU DAKRYZEI

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 フランス／ギリシャ／イタリア

色彩 Color

時間 170分

初公開日 2005/04/29

公開情報 フランス映画社

【キャッチコピー】

ギリシャの孤児エレニは、アレクシスとささやかな約束をした。
地に降る涙のように…美しい旅への出発。

【解説】

「旅芸人の記録」「永遠と一日」の巨匠テオ・アンゲロプロス監督が、ロシア革命で両親を失ったギリシャ難民のヒロイン、エレニが辿る過酷な運命を、ギリシャ現代史に重ね、雄大な映像美で綴る一大叙事詩。当初、20世紀全体を3部構成になった1本の長編で描く構想だったが、内容が膨らんだため、3本のそれぞれ独立した映画として製作されることになった。本作はその1作目。

1919年頃。ロシア革命によってオデッサから追われ、難民となったギリシャ人の一群が東を目指して歩いている。少女エレニはオデッサで両親を失った孤児。彼女は一行を率いていたリーダー格の男スピロスに拾われ、家族の一員として育てられる。およそ10年後、スピロスたちは新たな土地に<ニューオデッサ>という村を築いていた。少女エレニはスピロスの息子アレクシスと恋に落ち、妊娠する。スピロスが知ればただでは済まない。エレニは、スピロスの妻ダナエの計らいで、秘かに出産し、生まれた双子を裕福な夫婦の養女に出すのだった。数年後、ダナエが亡くなると、スピロスは成長したエレニを自分の後妻に迎えようとするが…。

【クレジット】

| | | | |
|----|----------------|----------------------|--------|
| 監督 | テオ・アンゲロプロス | Theo Angelopoulos | |
| 製作 | テオ・アンゲロプロス | Theo Angelopoulos | |
| | フィービー・エコノモプロス | Phoebe Economopoulos | |
| | アメディオ・パガーニ | Amedeo Pagani | |
| 脚本 | テオ・アンゲロプロス | Theo Angelopoulos | |
| | トニーノ・グエッラ | Tonino Guerra | |
| | ペトロス・マルカリス | Petros Markaris | |
| | ジョルジオ・シルヴァーニ | Giorgio Silvagni | |
| 撮影 | アンドレアス・シナノス | Andreas Sinanos | |
| 美術 | ヨルゴス・パツァス | Giorgos Patsas | |
| | コスタス・ディミトリアディス | Costas Dimitriadis | |
| 音楽 | エレニ・カラインドロウ | Eleni Karaindrou | |
| 出演 | アレクサンドラ・アイディニ | Alexandra Aidini | エレニ |
| | ニコス・プルサディニス | Nikos Poursadinis | アレクシス |
| | ヴァシリス・コロヴォス | Vassilis Kolovos | スピロス |
| | ヨルゴス・アルメニス | Giorgos Armenis | ニコス |
| | エヴァ・コタマニドゥ | Eva Kotamanidou | カッサンドラ |

ミハリス・ヤナトス

Michalis Yannatos

トゥーラ・スタトプロウ

Toula Stathopoulou